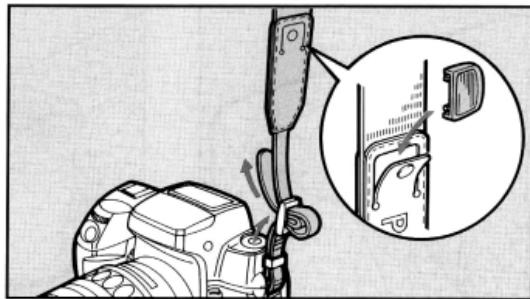


I カメラの準備と 基本操作

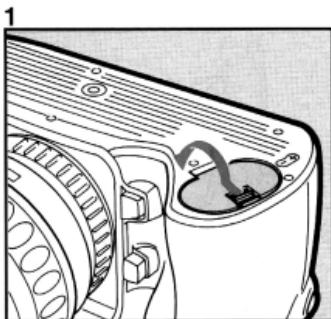


図のように、ストラップを取り付けてください。

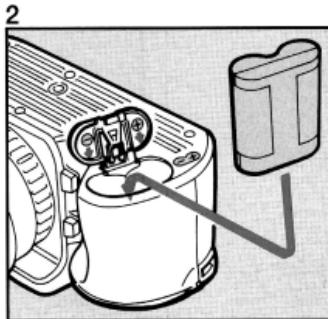
- * ストラップの先端は、留め具の内側になるよう通すと、しっかりと取り付けられます。
- * ストラップのポケットは、ファインダークリップ、レリーズソケットクリップ、ホットシューカバーなどの小物入れとしてご利用ください。

10

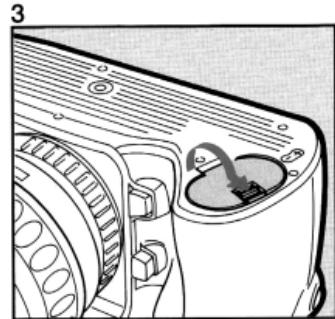
(2) 電池を入れます



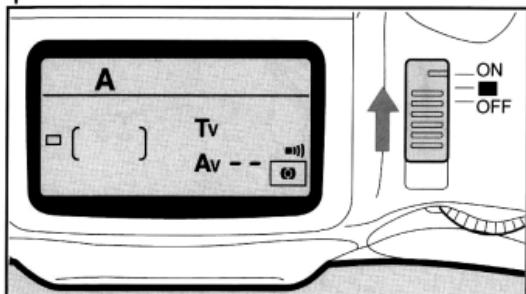
1. 図のように、電池ぶたの開放レバーを矢印の方向へ引いて、電池ぶたを開きます。
2. 電池の金属接点側を先に、カメラの+表示に合わせて電池を入れます。
3. 電池ぶたを押さえたまま、電池ぶた開放レバーを元に戻して電池ぶたを閉じてください。



- * Z-5Pは電池で動きますから、操作をする前には、必ず決められたリチウム電池[2CR5]同等品を1個入れます。Z-5Pには、サンプルの電池が添付されていますので、この電池をお使いください。



4

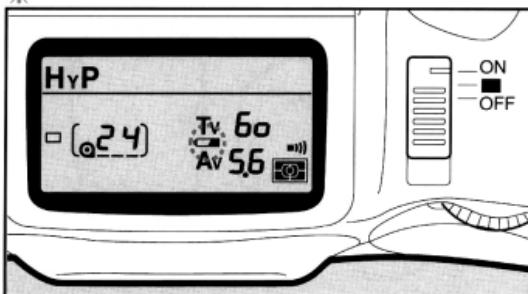


4. 電源スイッチをグリーンポジション **■** または **ON** にし、図のように表示パネルに表示が出来ることを確認してください。

* レンズが取り付けられているときは、別の表示が出ることがあります。

* 99ページの「電池について」もお読みください。

※



※電池が消耗した場合

電池が消耗すると、図のように表示パネルに電池警告 **■** が点灯します。お早めに電池を交換してください。

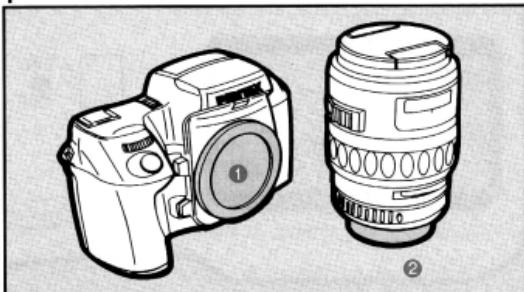
* 表示パネルの電池警告 **■** が点滅になると、シャッターが切れなくなり、ファインダー内に表示中のLCD表示は消灯します。

* 電池を入れ直すと、フィルムカウンターの値およびISO感度の設定を除いて、Z-5Pの諸設定は工場出荷時の初期設定に戻ります。

12

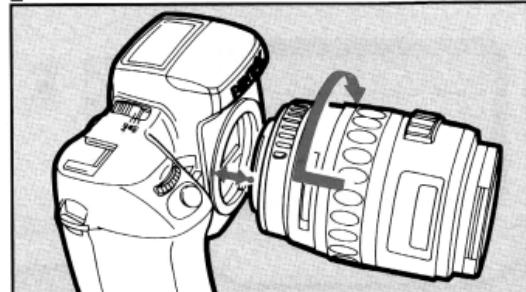
(3) レンズを取り付けます

1



1. 図のように、①のボディカバーと②のレンズ後カバーを外します。

2

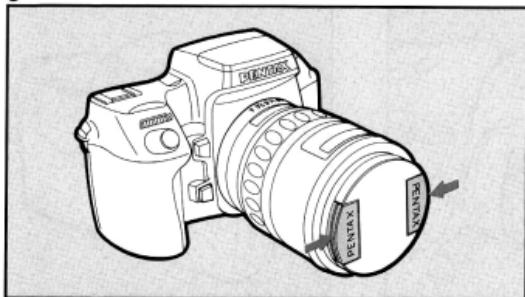


2. ボディとレンズの赤点指標を合わせて、レンズをボディのマウントにはめ込み、レンズを右に回すと「カチッ」と音がしてロックされます。

* ボディカバーは工場出荷時のキズやホコリ防止用のものです。保管用には、別売りアクセサリーとして「ボディマウントキャップK」が用意されています。

* FAズームレンズの着脱は、不用意なズーム作動を防ぐため、電源スイッチを **OFF** にした状態で行ってください。

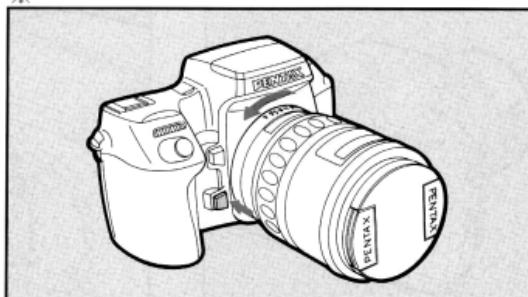
3



3. レンズの前キャップは、図のように矢印部分を内側に押すと外れます。

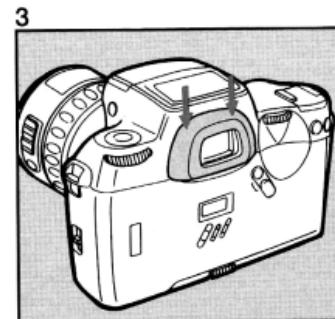
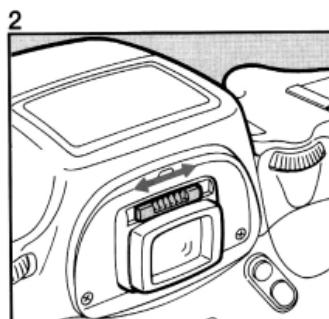
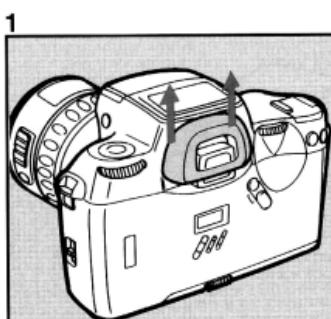
- * 他社製レンズを本製品に使用されたことによる事故、故障などにつきましては保証いたしかねます。
- * ボディやレンズのマウント面には、レンズ情報接点やAFカプラーがあります。この部分にゴミや汚れが付いたり、腐食が生じると、電気系のトラブルの原因になる場合があります。汚れたときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。

※



14

(4) ファインダーの視度を調節します



1. アイカップFDを取り外します。
2. カメラを明るい方へ向けて、図のように視度調整レバーを左右に動かし、ファインダー内中央のオートフォーカスフレーム【】の線が最もはっきり見える位置に調節します。
3. 調節が終わったら、アイカップFDをファインダー接眼部のアクセサリー取り付け溝に取り付けてください。

* 取り付けるときは、アイカップFDを上から差し込むようにしてアクセサリー取り付け溝にハメ込んでください。

* 視度の調節範囲は、+1.5D～-2.5D（ディオプトリー）です。

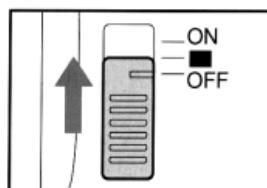
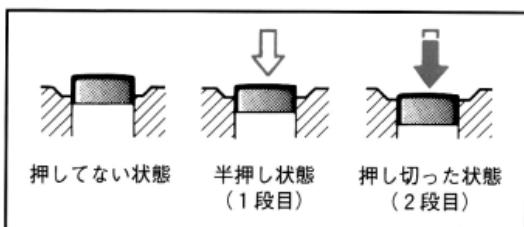
Z-5Pのシャッターボタンは2段階になっています。

シャッターボタンを半押し(1段目まで押す)すると、露出計やオートフォーカス機構が作動します。さらにシャッターボタンを押し切る(2段目まで押す)と、シャッターが切れ撮影できます。

シャッターボタンは、カメラぶれを防ぐためにも、指の腹でゆっくり押ししてください。

* フィルムを入れる前に、実際にシャッターボタンを押してみて、どこまで押すと半押しになるのか、感覚をつかんでください。

* 露出計のスイッチは、シャッターボタンを半押し後、指を離しても約10秒間入ったままになります。なお、シャッターボタンの半押しを続けると、露出計スイッチも継続します。



電源スイッチは3段階になっています。

[ON] =フルスペックポジション

Z-5Pの全ての機能が使用可能です。

[■] =グリーンポジション(簡易撮影モード)

露出モードは絞りがA位置では、プログラム自動露出のみ。絞りがA位置以外では、絞り優先自動露出のみとなります。

その他の使用できる機能については、22ページをご覧ください。

[OFF] =電源OFF

使わないときは、必ずこの位置にしてください。

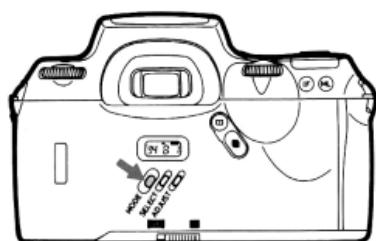
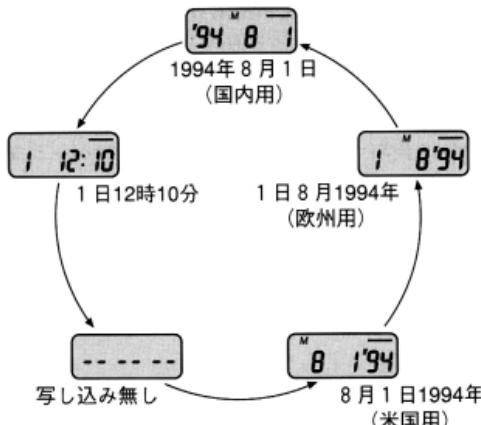
(7) データバックを使います

右図のように、矢印の**[MODE]**ボタンを押して、写し込みたい内容を選びます。表示は図のようになります。

[MODE]ボタンを押すごとに変わり、表示に出ていく日付けまたは時間が写し込まれます。

[M]は「月」の位置を表わしています。

[—]はシャッターを切ると点滅をして、日付けや時間が写し込まれたことを知らせます。



* **[---**]にすると何も写し込まれません。

* 日付けの表示方法は、3種類あります。

* データの写る部分(画面右下)に白や黄色のものがあると、写し込まれたデータが見えにくくなりますので、構図に注意してください。

* 日付けの修正は、84ページをご覧ください。

* パノラマ撮影モードでは、データを写し込み可能な状態にしても、データは写し込まれません。

* データバックの電池は、リチウム電池を使用します。データの写り込みが薄くなったり、データバックの表示窓の表示が薄くなったり、消えた場合には電池を交換してください。なお、電池の交換はお近くの当社サービス窓口にて受け付けております。(有料)

(8) フィルムを入れます

カメラの操作に慣れるまでは、カメラにフィルムを入れないで練習されることをお勧めします。

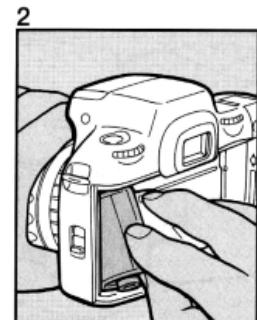
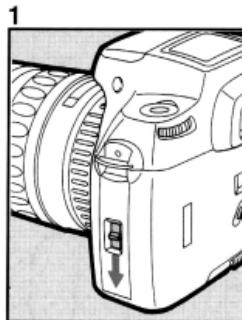
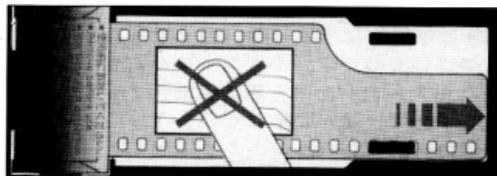
フィルム感度自動セット

このカメラでは、フィルムを入れるだけでフィルム感度が自動的にセットされます。

[ISO25~5000までのフィルムが使えます。]

*ほとんどのフィルムが、フィルム感度を自動的にセットできるDXフィルムですが、DX以外のフィルムを使用するときは、86ページをご覧になり、ISO感度をマニュアルで設定してお使いください。

*カメラを購入後、初めてフィルムを入れるときには、裏ぶたを開けて写真のような防傷カバーをシャッター幕に触れないよう注意しながら、取り外してください。

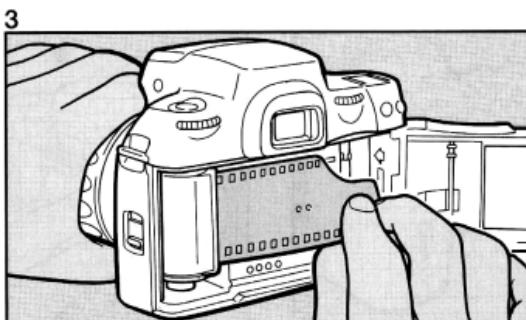


1. 裏ぶた開放レバーを矢印の方向へ下げるとき、裏ぶたが開きます。

2. 図のようにレンズ部分を左手でしっかりと持ち、フィルムの凸部側を下にして上側から先に入れ、次に下側を入れます。

* フィルムを入れるときは、直射日光が当たらないところで行ってください。

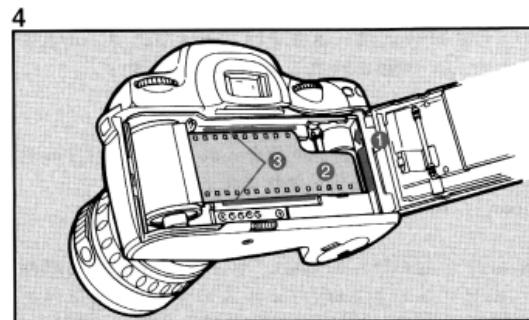
18



3. 左手でレンズを持ったまま、指やフィルム先端がシャッター幕に触れないように気を付けて、フィルムを引き出します。

* フィルムを引き出し過ぎた場合は、フィルムを元に少し戻してたるみを取ります。

* フィルム室内のDX情報ピンは、フィルム感度などを読み取る接点です。キズやゴミ、汚れを付けないように、注意してください。ゴミや汚れがあるときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。

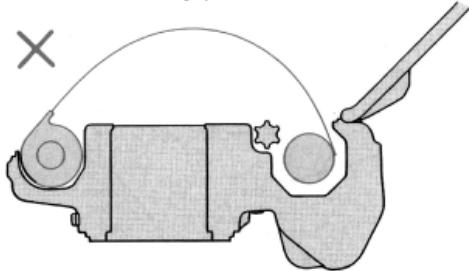


4. 図のように、フィルム先端部を①の赤色先端マークに合わせます。

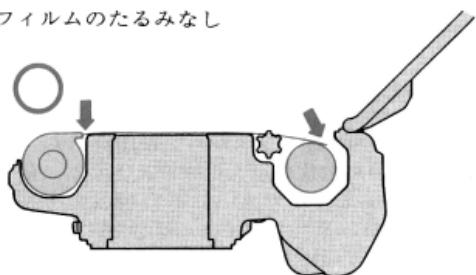
* フィルムの穴(パーフォレーション)を②の歯(スプロケット)に合わせ、③のフィルムガイド(図中、赤線部分)の間にフィルムが入っていることを確認してください。

* シャッター幕は非常に薄い幕でできており、精度の高いものです。手やフィルム先端などが当たりますとシャッター幕を破損させる恐れがありますので、絶対に触れないように注意してください。

フィルムのたるみあり

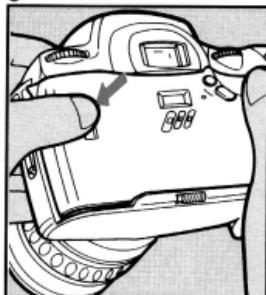


フィルムのたるみなし



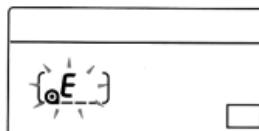
* フィルムの先端が極端に折れ曲がっているものは、まっすぐに直すか、曲がった部分を切り取ります。

5



5. 裏ぶたを閉め電源スイッチをグリーンポジション **[■]** か **[ON]** にすると、自動的に巻き上げられます。

* 表示パネルに **[I]** と **[Q—]** が出ていることを確認します。

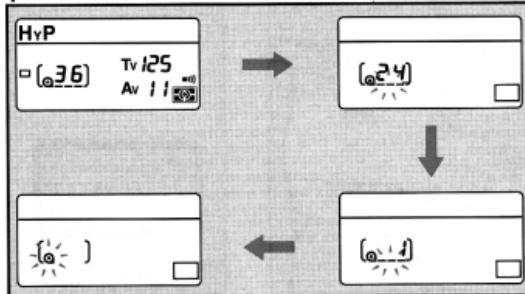


* 表示パネルに **[QE—]** が点滅しているときはフィルムが正しく入っていません。裏ぶたを開けて、フィルムを入れ直してください。

20

(9) フィルムの巻き戻しについて

1



1. フィルムの最後まで撮影すると、自動的に巻き戻しが始まります。

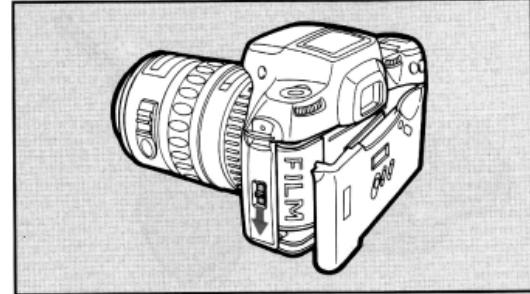
* フィルム終了時自動的に巻き戻しをしないように変更できます。

変更はサービス窓口にご用命ください。(有料)

* 巻き戻し中は、表示パネルの **[—]** が点滅し、撮影枚数も逆算表示されます。

* 巻き戻しが終了すると、表示パネルの **[Q]** が点滅し、撮影枚数の表示が消えます。この表示を確認してから、裏ぶたを開けてください。

2



2. 裏ぶたを開け、フィルムを取り出します。

* フィルムは直射日光が当たらないところで取り出してください。

* 巻き戻しは24枚撮りフィルムで約10秒です。

* フィルムの規定枚数以上の撮影をすると、最後のコマは現像所でカットされる場合があります。大事な写真の場合は、規定枚数を撮り終わった時点で途中巻き戻しを行ない、フィルムを取り出してください。(21ページ参照)

* 巻き戻し完了時にフィルムの先端部分を残すように変更できます。

変更はサービス窓口にご用命ください。(有料)